

科目区分	専門分野			科目番号	1304	曜日時間		
授業科目	緩和ケア							
単位数	1 単位	時間	16 時間	開講時期	2 年次後期	授業形態	講義・演習	
担当教員	温水 めぐみ ・ 瀬口 里美							
授業目的	緩和ケアを必要とする患者と家族の苦痛や苦悩を全人的な視点から理解し、個々のQOLの向上を目指した緩和ケアの具体的なアプローチについて理解する。							
中核	全人的苦痛の緩和							
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緩和ケアの定義と関連する概念を理解する。</li> <li>2. がん患者の体験している苦痛や苦悩を全人的視点から理解する。</li> <li>3. 症状緩和のためのアセスメントと援助方法を理解する。</li> <li>4. 家族を含めた臨死期および死亡前後のケアについて理解できる。</li> <li>5. 医療従事者の心のケアについて理解できる。</li> <li>6. 苦痛や死に向き合う個人とその家族についての理解を深め、看護師としての姿勢を考察する。</li> </ol>							
授業の内容と方法	回	授業内容			授業方法	時間		備考
	1	1. 緩和ケアとは（既習振り返り）			講義 演習	16	瀬口 里美 ・ 温水 めぐみ	科目ガイ ダンス
	2	2-1. 全人的ケアの実践 身体的ケア ～疼痛・呼吸困難・嘔気、嘔吐・倦怠感・浮腫～						
	3	2-2. 全人的ケアの実践 心理的ケア ～不安・抑うつ・希死念慮・不眠～						
	4	2-3. 全人的ケアの実践 スピリチュアルケア						
	5	2-4. 全人的ケアの実践 社会的ケア						
	6	3. 臨死期・死亡前後のケア						
	7	4. 医療従事者のケア						
	8	5. 緩和ケアにおける倫理的課題 事例検討						
終了後課題								
評価計画方法	筆記試験・レポート							
テキスト参考図書	恒藤悟、田村恵子編：系統看護学講座別巻 緩和ケア 第3版【電子版】、医学書院							
実務歴有	看護師							
講義への反映	実務経験を活かし、対象の抱える全人的苦痛を授業に反映させ、訴えられない対象の苦痛を予測できるように展開する。							
備考	成人看護学援助論VIでの緩和ケアに関する学習を基盤に展開するので、講義開始前には復習をしておくこと							